

4月22日  
名古屋市長選挙

## みんなの幸せ 考える苦勞人

うの ていを  
プロフィール

高校時代に病気で8年の療養のあと東京大学へ。独学で仏語を習得し生活のために翻訳の仕事。どんな困難にも屈せず「常に自ら貧しい者として、貧しい者と共に歩む」が信条の苦勞人。

サラ金で一家破滅に追い込まれた人の支援や、会社の役員時代に赤字の関連会社の再建をてがけるなど、「命あるものが愛と希望にあふれる人生をおくれるよう」身を呈して歩んできた市民の心のわかる人。

本名・三本木國喜(さんぼんぎ・くによし)、1934年2月27日生まれ。父をビルマ戦線で亡くし、母の手で育てられる。病氣療養で高校中退。大検合格後、東京大学へ。卒業論文は「貧困化理論について」。大隈鑄造株式会社に入社、その後旭サナック(株)専務取締役任に。2000年に南山大学大学院修士課程修了。98年から2000年までカトリック布池教会信徒会長、現在はカトリック名古屋教区信徒協議会副会長。

趣味 小説執筆(12冊を自費出版)、読書、音楽観賞。

好きな言葉 幸いなるかな平和をつくる人、その人は神の子と呼ばれる。(マタイ5 9)



# うの ていを さんが出馬を表明

「市政を変えたい」願い大切に

市民のための市政を実現するチャンスです。うのていをさんとともに、名古屋を生まれ変わらせる大事業をすすめてみましょう。ムダな大型開発をすすめる一方で、「市民には辛抱してもらおう」と平気でいう現市長には、市民の願いは託せません。

## 私の決意 うの ていを

名古屋市政に対する私たちの課題は、緊急のものとして二つあります。

一つは、万博・空港・徳山ダムなどムダな公共事業を見直し、税金の使い道を健全な姿にし、破産寸前の名古屋市の財政を一日も早く立て直すことです。

もう一つは、二二七万市民のくらしと営業を守り、すべての名古屋市民が、特に弱い立場の人たちが、安心して生活できるようにすることです。

さらに、必ず実現しなければならぬ課題が二つあります。

一つは、市民自治です。

二二七万市民の声を市政に反映し、情報公開と市民参加によって、愛と希望に溢れる、わがまち名古屋をつくることです。

言い換えれば、市民による市民のための市民自治名古屋を築き上げることです。

もう一つは、名古屋が平和と人権尊重の先進都市となることです。

平和憲法を守りましょう。老若男女すべての人に健康で文化的な生活が保障されるようにしましょう。暴力や犯罪や交通事故や災害のない、明るく楽しいまちづくりをしましょう。子どもたちがすくすくと成長して、私たちの次の世代を担ってくれるのを見守ってやれるようにしましょう。

そういつたみんなの願いを実現しなければなりません。

今はまさに、私たちの名古屋が新しく生まれ変わる、大きな転換期です。その大事業を、二二七万市民の皆さんと手を取り合っつてすすめて、実現していきたいと、わたしは心から願っております。

市民自治・名古屋の会は、うのていをさんの出馬表明と政策を発表しました。

市民自治・名古屋 NO.1 2001年3月

市民自治・名古屋の会 ☎ 979-7571 (3月23日 開通予定)  
FAX 979-7573  
中区葵2丁目13-26 第二小林ビル1F

# みんなの力をあわせて……いま 市政を変えるとき うの ていを

## 愛と希望あふれる名古屋を

### 「市民自治」を提案

万博、新空港などムダな大型プロジェクトを見直し、財政再建をはかります

名古屋市の借金は3兆3千億円（市民一人153万円）に。にもかかわらず、オール与党市政は、愛知万博や中部新空港、徳山ダムなどをすすめる財政破綻へまっしぐら。財政再建の道すじは、まず大型プロジェクトの見直しを第一に。

市民に開かれた市政を実現します

計画段階から実施過程までの情報を公開し、市民参加・職員参加を市政運営の基本におきます。それに対して、現市長は「すでに決まったこと」「途中では変えれない」と市民や地元住民の「理解と納得」をあとまわしにしてきました。

障害者、子ども、お年寄りを大切にし、福祉・医療を充実します

現市長は、障害者や乳幼児の医療費無料制度に所得制限を導入し新たに17600人が有料に。お年寄りの介護保険料は、大阪市や横浜市などでは減免制度がつけられましたが、現市長はその気もありません。

30人学級を実現し、深刻な教育問題を打開します

中学生の5000万円恐喝事件で深刻な実態が明らかに。不登校などの生徒が急増しています。高校進学率は政令市で最下位です。30人学級を実現し、どの子どものびのび育つ教育を。

中小業者の営業を守り、地域経済を活性化させます

あいつぐ中小業者の倒産・廃業。市の中小企業向けの仕事の発注は政令市で最低クラスです。大型店進出は野放しで、商店数は大幅に減り続けています。大型店進出を規制し、中小企業むけ官公需を大幅にふやします。

革新市政の会・総務代表世話人会議は、候補者擁立の経過について、次の「お詫び」を発表しました。

「オール与党市政を変えたい」という願いを実現するため、候補者一本化にむけ市民団体や革新市政の会は粘り強い努力を重ねてきました。しかし、予備選

挙で一位となり、立候補を決意された梅村氏が「立候補辞退」に至った原因を革新市政の会が作りだしました。このことに対し、梅村氏はもとより市民の



### 市民の共同の力で ここまで前進しました

『中日新聞』の報道によれば、長野や栃木の知事選挙のように、名古屋市でも「変革」を求める人が6割にも。この間、名古屋市民の世論と運動が市政を動かしてきました。

藤前干潟を守った



藤前干潟をゴミで埋めようとした現市長とオール与党に対し、市民の運動で干潟の保全を約束させました。

海上の森を守った



世界中から批判された海上の森を破壊する愛知万博計画を、住民投票条例の制定運動で大幅に変更させました。

「税金のムダづかいやめて」と8万3千人が署名



万博、新空港、徳山ダムなど税金のムダづかいを問う直接請求署名に、8万3千人を超える市民の皆さんが賛同。市民投票実現はみんなの願いになっています。

ゴミ減量は  
市民の力です

現市長はゴミの分別収集を市民との協力でなく、上から短期間に押しつけてきました。ゴミ減量に大きな努力をしてきたのは市民です。現市長の実績のように言うなんて！

みなさん、そして、候補者一本化に尽力された予備選挙候補者の鷲田氏に対して、心からお詫び申し上げます。そしてこの事態の中で、出馬の決意をされた「市民自治の会」の「うの ていを」さんに心から敬意を表します。

現在の「市民不在のオール与党市政」を変えたい、変えようの市民の願いは大きく広がっています。私たち革新市政の会は「市民本位の市政をつくる運動」に全力をあげることで再度、市民のみなさんの信頼に応えていく決意です。